



①CLZ校の生徒たちに折り鶴の作り方を教えました／②みんなで仲良くアイススケート／③風車の内部を見学／④ザイスト市役所を表敬訪問／⑤ダム広場の王宮前にて／⑥お別れパーティーでよさこいソーランを披露する生徒たち／⑦ホストファミリーへ感謝の花束を贈りました



お互いの文化伝え 仲良く交流できた

山田中 佐藤美奈子さん

印象に残っていることは、CLZ校での授業に参加して一緒に学習したことです。日本とは全然違う雰囲気でした。

日本の文化を伝える授業があり、名前をカタカナで書いてあげると、折り紙で鶴を教えてあげました。どちらもすごく興味を持ってくれてうれしかったです。鶴が完成するとみんな喜んでいました。そしてお礼にとわたしに紙飛行機の作り方を教えてくれました。本当にうれしかったです。日本の文化をたくさんのオランダの人たちに伝えることができました。文化を伝えることで交流でき仲良くなれた気がします。また、オランダの文化も知ることができました。

心のつながり実感 この経験伝えたい

山田中 小林万沙子さん

行きの飛行機の中ではたくさんの思いが心を巡っていました。言葉がうまく伝わるかな？ホームステイ先ではちゃんとコミュニケーションがとれるかな？など期待もたくさんある一方で不安や心配も多かった気がします。CLZ校に着いたらホストファミリーの方が迎えに来てくれて、最初は目を合わせるのも恥ずかしく緊張しました。でも、たくさんお話をしたり一緒に映画を見たり、わたしが日本について説明するととても真剣に聴いてくれて、心と心のつながりを感じることができ、一週間があっという間に過ぎてしまいました。この経験で得たことをたくさんの人に伝えたいです。





授業で演劇を学ぶ 教科の違いに驚き

山田中 臼井 聖 香 さん

CLZ校での2日間はわたしの中で素晴らしい経験となりました。まず日本と同じ数学や社会などをしました。ほとんどオ

ランダ語で分からなかったけど、すごかったです。それから日本とは違って完全移動教室なので、1時間ごとに毎回移動していてとてもびっくりしました。そしてわたしが一番驚いたのは「ドラマ」という科目です。演劇とかを授業でしたりしていてすごく驚きました。

わたしはこのジュニア海外使節団を通してオランダの文化や日常を知れたのはもちろんのこと、自分から行く積極性や、言葉の壁を越えた交流などを知ることができました。



抹茶を点てて交流 喜ばれて感激した

山田中 佐々木 純子 さん

一生に一度しかない出会いという思いを込めて接すること。そんな思いで出掛けた旅でした。オランダは12年に一度という寒

波に見舞われとても寒い毎日でしたが、これもわたしたちにオランダの自然を教えてくれたのだと思います。ホームステイ先では家族みんながわたしを抱きしめて大歓迎してくれました。日本の文化を伝えようと山田から持参した和菓子を出し、抹茶を点てました。初めて口にする抹茶の味にちょっとびっくりした様子でしたが、日本語で「ありがとう」と言ってもらいとても感激しました。オランダ行きのチャンスを与えてくださった方々に心より感謝します。



積極性を磨いた旅 自力でまた来たい

豊間根中 尾形 樹 麻 君

ぼくは出発当日、期待よりも不安を抱いていました。しかしホストファミリーが緊張していたぼくを温かく迎えてくれて、

不安も一気になくなりました。たった一週間のホームステイでしたが、折り紙やメンコなどの遊びで交流を深め、心と心で通じ合うことが出来、とても良い経験となりました。12日間のオランダ派遣の中で、ホームステイや日本人学校の訪問などで自分から行動したり話し掛けたりして、足りなかった積極性を磨くことが出来ました。このオランダ派遣は忘れられない一生の思い出です。大人になったら、今度は自分の力でオランダに行きたいと思います。



意思伝えることの 大切さ学びました

豊間根中 佐藤 良 祐 君

最初はホストファミリーの言っていることが少ししか理解できず、「はい」か「いいえ」くらいしか話すことが出来ま

せんでした。でも、みんな優しく受け入れてくれたので、次第に会話も増え自分から話し掛けられるようになりました。休日にホストファミリーとお土産や新しいゲームを買いに行き、家に帰ってから一緒にそのゲームをやりながら家族や学校の話をし、交流を深めたことは忘れられない思い出です。ぼくは、このホームステイで自分から行動する積極性や、相手の目を見て話したり、身振り手振りで自分の意思を伝えたりすることの大切さを学ぶことが出来ました。



耐えられない生活 送っていたアンネ

山田中 佐々木 碧衣 さん

わたしが一番印象に残った場所は「アンネの家」です。本で何度か読んだことがありますが、読んで想像しただけでとても恐

くて嫌な気分になります。実際にアンネの家へ見に行ったら、その当時2年間住んでいた隠れ家を見ることができました。アンネが壁に張った写真なども見てきました。外に光が漏れないようになっていたので、外からも太陽の光が入ってきませんでした。わたしだったらそんな生活は絶対に耐えられないと思います。アンネが当時書いていた日記にはたくさんの思いが書いてあり、とても貴重な体験でした。もう一度アンネの日記を読んでみたいと思います。

